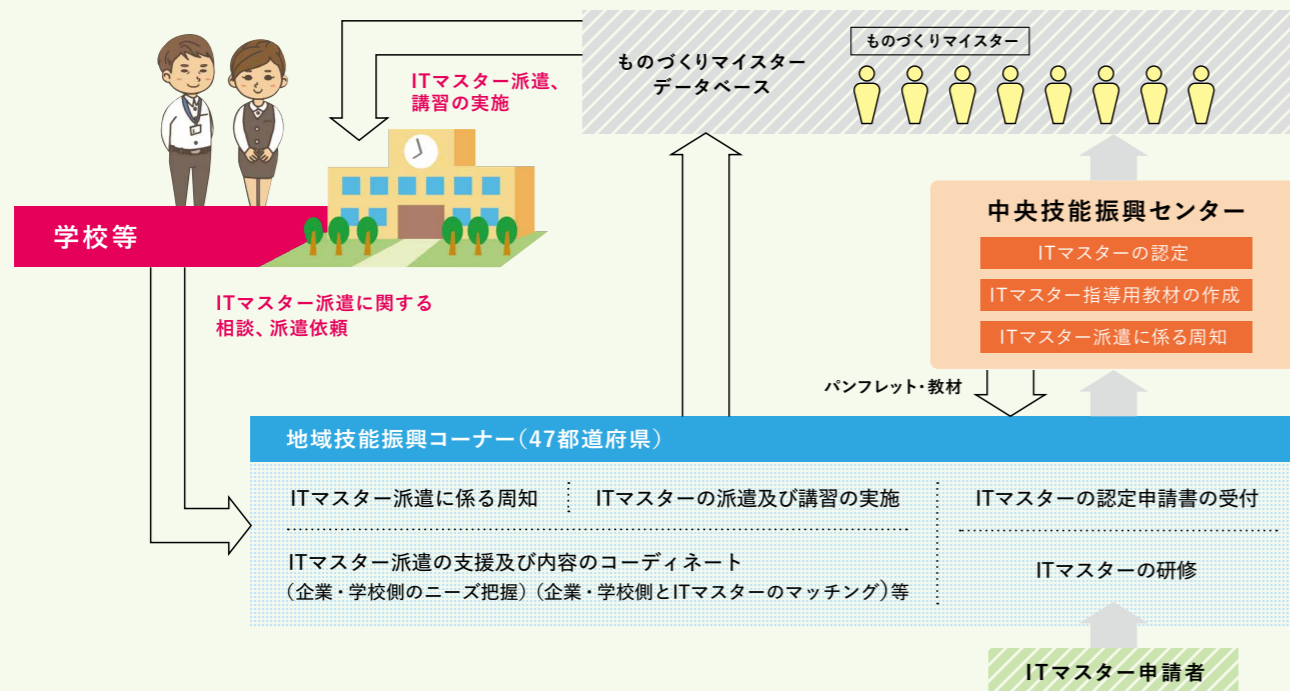


『ITマスター』のご案内

日本の労働生産性を向上させるためには、労働者一人ひとりが情報技術を有効に活用できることが重要です。そこで、平成28年度からITリテラシーの強化や、将来のIT人材育成に向けて、情報技術に関する興味を喚起するとともに、情報技術を使いこなす職業能力を付与するため、情報技術関連職種における5つの職種を対象に優れた技能を持つ技能者を「ITマスター」として認定し、中小企業等や教育機関において実技指導を行うほか、IT技能に関わる楽しさを伝えるため、小・中学校等の生徒・児童に対し、講習等を実施しています。

ITマスター派遣の仕組み

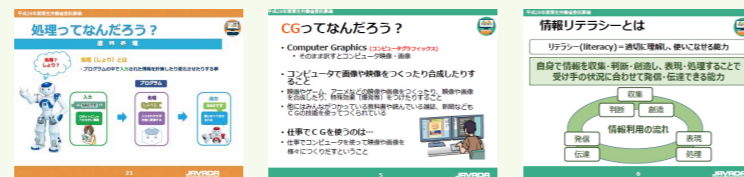


ITマスターの認定

ITマスターの認定を受けるためには、所定の要件が必要です。認定申請書類により中央技能振興センターでITマスターの審査・認定を行います。

ITマスターの指導

ITマスターは、中小企業の若年技能者、工業高校の生徒等を対象に、技能検定の実技課題、技能競技大会の課題を用いて実技指導を行います。また、小・中学校等の児童・生徒を対象とした「ITの魅力」の発信として、以下のようなテキストを活用しながら分かりやすく講義を行います。



プログラミング教材 (小学生向け)

グラフィック教材 (中学生向け)

情報セキュリティ教材 (中学生向け)

詳しくは、HP「ものづくりマスターデータベース」をご覧ください。

ご利用方法について

厚生労働省が運営しているポータルサイト「ものづくりマスター／ITマスターデータベース」のご案内をいたします。このサイトでは、制度の詳しいご紹介はもちろん、ご要望にあったマスターを簡単に検索することが可能。ぜひ、みなさまにご活用いただければ幸いです。

ITマスターの指導内容

今すぐに、ベストな指導者が見つかる!

「ものづくりマスター／ITマスター データベース」



ポータルサイトの活用方法

当制度の魅力のご案内

ものづくりマスター制度とITマスター制度についてご紹介。例えば、実技指導の対象となる全職種を掲載するなど、より詳しい情報を知ることができます。

ものづくりマスター／ITマスターの検索

サイト内の検索システムを使って、ご要望に合った「ものづくりマスター」／「ITマスター」の方を調べることができます。

実技指導の実例のご紹介

今回、この冊子でご紹介した以外に、他の企業や学校がどのように当制度を利用しているのかをご案内しています。ぜひ、検討の際の参考にお使いください。

各都道府県の技能振興コーナー 連絡先一覧

全国47都道府県の相談窓口である、「地域技能振興コーナー」の連絡先も一覧で掲載。何かご不明な点やご相談などがあれば、お気軽にお問い合わせください。

詳しくは、HP「ものづくりマスターデータベース」をご覧ください。

ものづくりマスターデータベース

検索

